

# 川内博史

衆議院議員

予算委員会委員として新型コロナウイルスのPCR検査の保険適用を実現しました。  
また、党鹿児島県連合は、鹿児島市議会選挙に2人の女性候補の公認を決定しました。  
川内博史衆議院議員がその思いを語りました。

## 御挨拶

皆様、いつもありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症対策として、学校も一斉に休業し、あらゆるイベントが中止になり、マスクもなかなか手に入らないなど、世の中全体が重苦しい雰囲気になっています。

こんな時だからこそ、政治のリーダーシップが大事です。政治のリーダーシップとは、皆を不安にさせるのではなく皆を安心させること。

時あたかも、鹿児島市議会議員選挙に、立憲民主党は皆さんの生活の安心を確保してゆく為に、2人の公認候補を擁立する予定です。

ひとり、「まつお晴代」さん。

ひとり、「向江かほり」さん

「まつお晴代」さんは、陶芸家、主婦として原発問題や障害者支援等、様々な課題に取り組んで来ました。

「向江かほり」さんは、シングルマザーとして苦勞して子育てしながら、全国の自動車教習所教習員コンテストで日本一になりました。

ふたりとも、スーパーのチラシを見比べてサービスタイムに買物に行く人達です。

少子・高齢化の時代の中で、皆が納めた税金が無駄なく、皆の為に使われるまっとうな政治の為には、女性の目線が市議会にも必要です。

子ども達の医療費の窓口負担廃止や敬老パスの無料化復活、コミュニティバスへの支援など、市民の皆様の生活の安心度向上こそが、ふたりの役割。

立憲民主党は「まっとうな政治」の実現を目指して、ブレずに真っ直ぐに進んで参ります。

衆議院議員 川内博史

RIKKEN  
MINSHU  
号外  
鹿児島県連合  
2020.3.24

立憲民主編集部  
〒102-0093  
東京都千代田区平河町  
2-12-4 ふじビル3F  
Tel. 03-6811-2301  
Fax. 03-6811-2302  
goiken@cp-japan.net  
http://cdp-japan.jp/

立憲民主  
The Constitutional  
Democratic Press  
りっけん

立憲民主鹿児島県連合  
〒890-0056 鹿児島市下元田 1-6-23-2F  
Tel. 099-206-2422  
Fax. 099-259-7927  
E-mail fvgs5470@mb.infoweb.ne.jp

## 新型コロナウイルス／PCR検査に保険適用 川内博史議員の質問に加藤厚生労働大臣が答弁 2020年2月27日

新型コロナウイルス感染症が世界で猛威をふるい、人間の生命・健康だけでなく、日本と世界の社会・経済に大きな打撃を与えています。

川内博史議員は、2月1日にクルーズ船ダイヤモンドプリンセス号で最初の新型コロナウイルス感染者が発見された時、誰よりも早く集団感染を予測し、危機感を持ってこの問題の調査を始めました。2月5日以降、連続して衆議院予算委員会で質問し、2月27日には新型コロナウイルスのPCR検査の保険適用を加藤厚労大臣に認めさせました。

4月以降、ウイルス感染を収束させ、社会・経済への打撃を回復させる超大型補正予算の実現に、川内博史議員は全力を尽します。



## 大学入試センター法改正案を衆院に提出 2020年3月5日

共同会派を組む立憲民主党、国民民主党、衆院会派「社会保障を立て直す国民会議」、社会民主党と共産党は、「独立行政法人大学入試センター法の一部を改正する法律案」（大学入試センター法改正案）を衆院に提出しました。

来年以降の大学入試について、受験生・保護者の不安を解消するために、大学入学共通テストにおける記述式試験の導入及び民間英語試験の活用を中止し、課外活動等が記録されたデータベースを活用した主体性評価を廃止・見直しする内容の法案です。法案提出後の記者会見で川内博史議員は「公平・公正で、受験生が実力を発揮し、納得できる大学入試の環境を整えることが大人の役割だ」と強調しました。

# 次期鹿児島市議会議員選挙候補予定者として **2人の女性**を 立憲民主党公認に決定しました。

The Constitutional Democratic Party of Japan  
リっけん

はるよ **まつお**  
**晴代**



ボランティアが大好きです!

**まつお 晴代**  
県連合広報委員長

- 田上6丁目在住の45才
- 大明丘生まれの吉野育ち
- 大明丘小・吉野中・甲陵高・北九州市立大で学ぶ
- コリス工房主宰(陶芸)
- 日本各地の災害ボランティアに従事
- 福島母子保養受入れに従事

**まつお 晴代**さんの思い

私は、2011年の東日本大震災と原発事故がきっかけとなり、政治に強い関心を持ちました。福島からの母子保養受入れや災害ボランティアなどに携わる中で、被災者の方など弱い立場にある方々と共に過ごしました。そして、日々の暮らしの中にもたくさんの小さな声があることに気づかされました。なぜ、小さな声を政治がすくい取れていないのか不思議に思いました。市民の声をしっかりと聞く、より良い社会を作るために、まず自分で立ち上がります。子どもからお年寄りまで安心して暮らすことのできる鹿児島市を作ります。

**かほり**  
**向江**  
むかえ



日本一の自動車教習指導員!

**向江 かほり**  
県連合政策委員

- シングルマザー、32才。小3男の子の子育て奮闘中
- 坂元台小・坂元中(中2迄)・学芸高・鹿女短卒
- マジオドライバーズスクール指導員(本年2月まで)
- 全国自動車教習所学科競技大会、優勝(日本一)

**向江 かほり**さんの思い

私は地域の住みやすい環境をつくるために働きます。鹿児島の良いところはさらに伸ばし、足りない点は補っていきます。そのために縁の下の力持ちとして地域の皆さまのために尽くします。子育てしやすい鹿児島市、働きやすい鹿児島市をめざします。私の「日本一」の力を市政で発揮させてください。(自動車教習競技大会で日本一になりました)